

# 学校関係者評価報告書

学校法人 麻生塾  
麻生情報ビジネス専門学校 北九州校

## 目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況 .....	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針 .....	- 3 -
2. 学校関係者評価委員名簿.....	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況 .....	- 4 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法 .....	- 4 -
5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方 .....	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告.....	- 4 -
1. 重点項目について .....	- 4 -
2. 基準項目について .....	- 5 -

## I. 学校関係者評価の概要と実施状況

### 1. 学校関係者評価の目的と基本方針

#### 1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生情報ビジネス専門学校 北九州校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

#### 2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

### 2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区 分	氏 名	所 属(役職)
業界関係者	伊藤 洋平	株式会社パソナ安川ビジネススタッフ営業企画本部 (営業企画課長)
業界関係者	上田 浩二	株式会社サークル・オブ・フレンズ(代表取締役社長)
業界関係者	河上 和弘	株式会社ジーン(第一開発事業部 事業部長)
業界関係者	木場 重裕	バリエーションソフト株式会社 (システム開発部 課長)
業界関係者	小峰 正仁	(株)メンバーズ(常務執行役員)
業界関係者	宮原 寿光	株式会社 RAID(代表取締役社長)
高 校	堀 修	福岡県立 小倉商業高等学校(校長)
地域住民	安部 久美子	北九州市小倉北区鋳物師町住民

※区分別、五十音順、敬称略

### 3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2020年9月9日（水）16:00 ～ 17:10

場 所：麻生塾北九州キャンパス 小倉校舎 6階 602教室

### 4. 学校関係者評価委員会の実施方法

学校関係者委員の皆さまに、2019年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見をいただく。

### 5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

2019年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

## II. 学校関係者評価委員会報告

### 1. 重点項目について

#### 【取組状況】

①専門家によるカリキュラムを整備するための研修を実施した。また学校グループ全体としてシラバス書式、および内容の改訂を行った。学校グループ内でのカリキュラム作成研修に参加、カリキュラムマップの作成へ取り組んだ。また、後期には校長代行および常勤講師相互の授業見学を実施し評価と書く人へのフィードバックにも取り組んだ。

②前期に専門家による授業見学を実施、教員へのフィードバックを行い、指摘事項について後期授業へ向け改善できるよう取り組んだ。また、後期には校長代行および常勤講師相互の授業見学を実施し評価と各人へのフィードバックにも取り組んだ。

③教員の学生指導力やクラス運営能力を組織として向上させるため管理職主導でリーダー育成などの教育体制の整備、また法人のスキルアッププログラム、実務担当者研修への参加を計画した。また、教員の専門性維持・技術向上のための外部研修への参加計画を立案し実行した。

#### 【委員からのご質問・ご助言】

特になし。

## 2. 基準項目について

### 基準 1 教育理念、目的、育成人材像

学校関係者評価結果： 適合

#### 【取組状況】

法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像について、学校グループの Web サイトへ掲載され、ほぼ全体の周知が可能になった。ただ入学希望者、新入生への周知はできているが、在校生への周知が不足しているため学校説明会、新入生オリエンテーションなど学内外での行事開催時に学校グループの Web サイトへの掲載を告知することで継続的な周知を図った。また 2、3 年生へは、年度初めの授業開始時にシラバスを提示する際に「法人の理念」、「学校の教育理念」を提示した。

#### 【委員からのご意見】

Webサイトを拝見し、開校当初から変わることのない「社会貢献と人間教育」に基盤を置くその精神が理解できた。その精神に根ざした人材育成、各科の教育目標が社会のニーズにこたえるものだと感じた。

### 基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適合

#### 【取組状況】

学校運営はほぼ規定通りに行われており、事務組織も機能している。また、学校グループ全体の業務管理システムも改善活動は常時行われている。ただ、それらを証明するエビデンスの所在の有無にばらつきがあるため学校業務を支援する事務組織などが機能しているかを証明する組織図の整備する予定である。

また、働き方改革関連法等に伴う対応を適時行っていくこと。働き方の変化や時代背景の変化に対応した就業規則・各種規則の改定を行う予定である。

#### 【委員からのご意見】

情報の共有を全職員で行うことで、報告、連絡、相談を風通しのよいものとして、学校の意思決定や業務改善などに資するものとなっており多めに評価できる。

### 基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適合

#### 【取組状況】 ①

教職員、学生が決められたポリシーで学習をスタートできるよう、非常勤講師とのコミュニケーション、新入生オリエンテーション等で、学校の教育理念、教育目標(育成人材像)の周知徹底を継続していく。ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーについて、本校では学科共通のポリシーは用意されているが、各学科のポリシーは用意されていない。

#### 【委員からのご意見】

各学科で設定したポリシーに対して実践することが大事だと思われる。

#### 【回答】

カリキュラムに関する研修を通じて、学科ごとにポリシーがあることが望ましいとわかったので、2020年度中には学科別ポリシーを用意する。それらに基づき業界の第一線として働くことのできる人材を教育できるよう教育課程を編成していく。

**【取組状況】②**

業界ニーズにあわせたカリキュラムの一部改変や授業内容の改善は行っているが、それを証明するエビデンスが不完全である。とくに学習指導が適切か、シラバスに基づいて授業が展開し、学校構成員に周知を図っているかについて証明できるコマシラバスの記録が不完全なものがある。教育課程を体系化した「カリキュラムマップ」の整備を行う。また、常勤・非常勤講師を問わず、担当科目のコマシラバスの記述を徹底し、整備する。

**【委員からのご意見】** 学生に対して世の中の流れを教える必要があると思う。時代の流れを外部の人間に話してもらうなどリアルな世の中の状況を学生に話すことが重要ではないかと思う。

**【取組状況】③**

教育の評価について教育課程編成委員会(年2回実施)で、外部委員から、卒業生に関しての情報や評価を得ている。在校生に対しては、前期・後期ごとに「授業アンケート」「ホームルームクラスアンケート」を実施し、ディプロマポリシーに基づいた授業、クラス運営等に対する教育活動の評価を実施している。さらに本年度より授業見学のフィードバックをもとに、継続的に各教員が後期授業開始前に改善目標を設定し、取り組んでいる。

「授業アンケート」「ホームルームクラスアンケート」「卒業時アンケート」実施による評価結果に対しての検証・改善の記録を残す。学科ごとのカリキュラム検討会議を実施し、議事録を残す。

**【委員からのご意見】**

アンケートについて改善の取り組みはしているとなっているが、改善の取り組みができていないのかできていないのか？アンケートについて嫌がる先生もいらっしゃるのではと思う。当社でも評価はあるが給与には反映されてはいない。ただ指摘された本人がどう改善したかまで追跡している。単にアンケートをとるだけでは意味がないと思われる。

**【回答】**

授業アンケートを取った後はその結果を校長代行やリーダーがご本人へフィードバックしている。そのあとの追跡まではできていないので「A」となっている。本部で一斉に集計して各先生へのフィードバックを行っているためご本人との面談の中でどういった話になっているかまではわからない。先生方の良い部分を評価している状態。

**【委員からのご意見】**

よかった部分を評価するのであれば「3-3-2」については「A」ではなく「S」でよいのではないか。

**【取組状況】④**

学校教育法に定められた授業時間数を満たすカリキュラムを体系的に編成した内容であり、学内で定められた成績評価基準に従い適切に評価を行っている。シラバス書式が改訂され科目ごとの評価基準がより明確にされた。成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準を規定として定めている。

またそれらについて学生便覧などを通じて明示している。以上の規定に基づき、年度末には卒業判定会議、進級判定会議を開催し卒業・進級判定をおこなっている。ただ、議事録の重要性の周知が不足しているので、議事録を残すことを徹底する。議事録の重要性を周知する。

**【委員からのご意見】**

特になし

**【取組状況】⑤**

教員の組織配置については法令に則り、全学科担当科目の専門性を考慮した資格、経験等を参考に採用し、必要とされる資格を所持した教員を配置しており現状問題はない。教員の専門性や指導力等の維持、資質向上のための施策としては、法令に則った資格・要件を備えた教員を確保し、分野ごとに必要な教員体制を整備している。教育力向上のための活動として、各教員の共通分野、専門分野について計画的に学内外で実施される研修へ参加し、報告書を記録し改善のための資料としている。今後は、前年度の研修実績をふまえ、時間的な制約や予算の都合も考慮したうえで、法人のスキルアッププログラム、実務担当者研修への参加また、教員の専門性維持・技術向上のための外部研修への参加計画を立案し実行する。

**【委員からのご意見】**

特になし

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適合

**【取組状況】**

企業訪問などを通じて卒業生在籍動向及び評価の把握は継続して実施しているが、全てを把握することが困難である。改善の必要性があるので計画を立て今後も継続的に取組む必要がある。退学については原因を調査しているものの、学生ごとに理由が異なるため、対応が難しい。これからも学生ごとに随時面談を実施していく必要がある。

今後は、卒業生の近況把握のため、企業訪問を継続していく。また次年度より今年度制作された学校グループ共通の企業アンケートを使用してより多くの卒業生の近況把握につとめる。企業訪問やアンケートから得た調査結果をもとにより正確に教育活動および学生支援の改善を図るために各担当者・学科内にて振り返りを行い、改善計画を立て、次年度のシラバス作成に活かし、改善活動に努める。

**【委員からのご意見】**

多様な学生の、多様なキャリアプランに対して、入学時より教員および各担当者が計画的に取り組まれている。状況に応じて三者面談を行うことで学生へ寄りそう指導ができており、業界就職率90%の成果を残すことができています。

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適合

**【取組状況】**

現在、課題は特になし。今後、留学生が増えることが想定されるため、経済的支援はもちろんのこと、生活面でのサポートが必要になると考えらえる。

留学生のサポート内容について、日本語教育センター、日本語学校や本校の留学生から意見も収集し、具体的内容を継続して構築していく。学生相談などの件数や記録を教務室等に常時残しておく。

**【委員からのご意見】**

学生が安定した学生生活を送ることができるよう、学内にスクールカウンセラーを配置、毎年健康診断の受診、授業料減免制度や奨学金支援など具体的な取り組みを行っている。また、留学生や卒業生に対する支援なども行っており、その支援体制は大いに評価できる。

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適合

**【取組状況】 ①**

教育運営に支障を生じさせないように、必要性に対応した機材・備品は整備されているが、それらを証明する台帳などが整備されていない。教育運営に支障を生じさせないように、継続的に必要性に対応した機材・備品は整備するために、次年度に向け新しいものから台帳などを作成し整備する。

**【委員からのご意見】**

オンライン授業が今後もあるのであれば、必要なもの、不便に感じることを学生、教職員からアンケートなどで情報を収集したほうがよいと思われます。

**【委員からのご意見】**

ソフトの更新は予算を組まないといけないが、クラウドとして扱うことはできないか？

**【委員からのご意見】**

教育運営に支障を生じさせないよう、毎年各分野の担当者へのヒアリングを行い、必要に応じ整備、維持、管理されている。今後は管理するうえで台帳の作成さらなる整備を期待する。

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適合

**【取組状況】**

法人の財務状況などを考慮しながら、税率変更や物価上昇の影響など必要に応じて、適切な学生納付金等の設定を実施する必要がある。Web サイトに公開している資格及び就職実績についての記載年度が最新でなかったため、「7-1-2」の「募集活動において、教育成果は正確に伝えているか。」については B 評価となった。

今後は、法人の財務状況などを考慮しながら、税率変更や物価上昇の影響など必要に応じて、適切な学生納付金等の設定を実施する必要がある。早急に Web サイトに公開している資格及び就職実績についての記載年度を最新情報へ更新する。

**【委員からのご意見】**

アドミッションポリシーに基づき、公正かつ適切に募集活動および入学者選抜を行っている。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適合

**【取組状況】**

今後も予算決算管理及び昨年度対比による分析等の取り組みを継続的に行っていく。その分析等により重要な差異や変動を把握するとともに、対応策の検討、実施により、外部環境の変化等に耐え得る安定した財務基盤の維持を図っていく。

**【委員からのご意見】**

財務諸表などから学校の財務基盤が安定していること、管理運営ができていることが理解できる。また、情報公開についてはホームページにおいて行っている。

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適合

**【取組状況】**

法令に関する情報更新が教職員全てに熟知されているかを、確認する機会がないため、研修の中でフィードバックを実施する必要がある。今後は関係法令に関する情報共有の継続と、教職員が定期的に研修会へ参加し、学内へのフィードバックを図る。

**【委員からのご意見】**

専修学校設置基準、福岡県設置認可取扱基準を遵守することから学内規定が構築されている。また、その規定を基に法令遵守を教職員へ周知徹底が十分できている。

基準 10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適合

**【取組状況】**

教育の質を保証する仕組みは構築され、自己点検・評価活動についてこの数年間で教職員への周知は広まった。しかし、まだ限られた教職員により実施されているのが現状である。教職員へのよりいっそうの周知が求められる。

引き続き、自己点検・評価活動についての可視化への取組みを行う。教職員への自己点検報告書など関連資料の回覧、所在の明確化を行い周知徹底する。さらに改善活動へと生かす。

リーダー会議などでの議題として指摘事項の確認などを行い、PDCA サイクルを回しながら改善活動を実施していく。また、各教職員への周知を徹底する。

**【委員からのご意見】**

教育の質を保証するため、自己評価、点検を適切に行うことで改善につなげている。また、学校関係者評価による外部からの提言などを取り入れることでさらなる改善に資している。また、このことは Web サイトで公開することで社会に対する説明責任をはたしている。

基準 11 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適合

**【取組状況】**

高校への出張授業や来校連携授業を実施しているが、実施状況を一覧できるものがない。第三者にもわかりやすいよう、明瞭表示されたものを作成する。

**【委員からのご意見】**

積極的に外部団体へ加盟、連携している。特に高校や小学校へ出向いての公開講座の実施や行政と連携した「北九州高校生イラストコンテスト」の実施は教育資源を活用した社会貢献活動として大いに評価できる。また、3 か月間、各クラス持回りでの北九州街美化運動における継続的な地域清掃活動も評価できる。これらのことをより広報していただきたい。

基準 1 2 国際交流

学校関係者評価結果： 適合

**【取組状況】**

留学生からの相談時記録がない。

今後は留学生の受け入れ、在籍管理の組織担当割、留学生とのガイダンス記録表を残す。

**【委員からのご意見】**

日本語教育センターと連携し、留学生の受け入れ態勢を整備している。また、在学中の学生対象の海外留学プログラム支援については、学生や保護者に対して説明会を行うことで情報の公開に努めている。今後はよりグローバルな社会で活躍できる人材育成を推進していただきたい。

以上